



令和5年度 森林総合研究所四国支所公開講演会

林業座談会

「使う、植える、育てる－持続する林業を目指して－」

- ・次世代も森林の恵みを享受することができるように森林を維持することは私達の使命。
- ・森林資源を伐採し、適材を適所に利用する一方で、次の苗を植え、育てていく必要がある。
- ・林業を持続させるためにはどこにコストをかければいいのか。

概要

我が国の森林資源は成熟期を迎え、得られた森林資源を木材産業に渡し「使う」時代へと移行しつつあります。しかし、伐採後に再造林が行われない植栽放棄地や更新困難地も増加し、土壌流出等による山地災害発生リスク増加、公益的機能の低下も懸念されています。

次世代が私達と同じように森林の恵みを享受できるように、「植える」、「育てる」という林業の基本サイクルを持続させることは現代に生きる私達の使命であり、そのためには、森林組合や民間事業者、行政、研究者といった関係者はもちろん、一般の人々も含めて社会全体が一丸となって協働する必要があります。

この座談会では、森林資源の循環利用の流れ「使う、植える、育てる」に沿って、まず大径材の利用を促進するための最新技術について、次に再造林を進める上で障害となっているシカ問題と下刈り、除伐、間伐といった初期保育を例に、持続する林業のためにどこにコストをかければよいのかについて、研究成果をもとに話題を提供します。

◎詳細は別紙チラシをご覧ください。

問い合わせ

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所四国支所 支所長 岡 輝樹

<広報担当者> 森林総合研究所四国支所 産学官民連携推進調整監 伊神 裕司

<問い合わせ先> 森林総合研究所四国支所 地域連携推進室長 藤原 拓也

Email:koho-ffpri-skk@gp.affrc.go.jp

Tel:088-844-1121(代) Fax:088-844-1130